

ハ一モ二一

第25号 2001年5月31日発行
日本養護教諭教育学会

日本養護教諭教育学会

事務局：〒310-8512
水戸市文京2-1-1
茨城大学教育学部
大谷研究室
TEL029-228-8298
(Fax兼用)
振替口座：00880-8-86414

目 次

第9回学術集会のおさそい	2
第9回学術集会開催案内	2
会員の声	3
学会誌第5巻の投稿原稿募集	4
研究助成金申請者の募集	4
研究班からの活動報告	
「健康教育に必要な養護教諭の研究能力について考える」	5
「養護教諭の英訳および本学会の英名に関するワーキンググループ」	5
理事会等の報告	6
住所、所属変更のお知らせ	7
事務局から、編集後記	8

第9回学術集会へのお誘い

実行委員長 竹田由美子

(神奈川県立衛生短期大学)

第9回学術集会を、神奈川で開催できることを嬉しく思います。会場の「湘南国際村センター」は、富士を望み眼下に相模湾と、景観に恵まれています。富士を望み眼下に相模湾と、景観に恵まれています。交通アクセスにやや難点があるため、10月6日(土)午後から、10月7日(日)の一泊二日で開催することにしました。10月6日の夕食は懇親会を予定しています。

最近の子どもは「キレル」「ムカつく」に、代表されるように変わったと言われています。そこで、メインテーマを「21世紀の養護活動と求められる能力」とし、特別講演は、長年子どもに向きあった経験を通して、養護教諭に必要な考え方や能力をお話くださるよう大草正信先生の講演を企画しました。

また、シンポジウムでは、医師であり、養護教諭の養成教育に尽力されている杉浦守邦先生に、養護教諭の歴史と自分史を織り交ぜながら、養護教諭への熱き想いを、野村昇子先生には、養護活動の実態から養護教諭に必要な能力を、山崎隆恵先生には、養護活動の実践と研究の統合を、語っていただきたく願いました。

21世紀の幕開けに相応しい集会になるよう、実行委員一同、準備を行っています。同封の申込票を用いて、一般口演にたくさんのご応募をお願いします。また、学会員のほか、当日会員の参加も大歓迎です。皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。お待ちしております。

実行委員は、片山良子(横浜高等教育専門学校) 中川優子(藤沢市立片瀬中学校) 畑中高子(神奈川県立衛生短期大学) 山崎隆恵(神奈川県立藤沢北高等学校) にお願しました。

第9回学術集会のご案内 《第2報》

1. 期日 2001年10月6日(土)・10月7日(日)
 2. 会場 湘南国際村センター・国際会議場
TEL 0468 (55) 1810
 3. メインテーマ
「21世紀の養護活動と求められる能力」
 4. 日程
 - ・ 10月6日(土) 特別講演 16:10~18:00
講師: 大草 正信
(前横浜市養護教育総合センター)
 - ・ 10月7日(日) 8:30~16:30
 - 1) 学会研究班発表 9:30~
 - 2) シンポジウム 10:30~12:30
座長 三木とみ子: 女子栄養大学教授
杉浦守邦氏: 京都蘇生会総合病院
野村昇子氏: 横浜市立本郷中学校
山崎隆恵氏: 神奈川県立藤沢北高等学校
 - 3) 一般口演 13:30~16:30
 5. 演題申込締切
2001年7月11日(水) 必着 FAX可
 6. 口演原稿締切
2001年8月10日(金) 必着
 7. 送付先
〒241-0815 横浜市旭区中尾1-5-1
神奈川県立衛生短期大学第9回学術集会事務局
竹田由美子 TEL: 045-361-6141
FAX: 045-362-8785
 8. 演題申込方法
 - 1) 同封の演題申込票で申し込んでください(コピー可)。演題受理後、原稿作成要項等をお送りします。
 - 2) 発表者(共同発表者を含む)は本学会員に限ります。共同発表者はすべて氏名・所属を記入してください。
 - 3) 内容は未発表で、養護教諭の力量形成や資質向上など広い範囲でお考えください。
- 備考) 運営の都合で時間は変更することもあります。

■ 大 学 院 の す す め ■

外山 恵子

(愛知教育大学大学院院生)

今年度より、教育公務員特例法第20条の「大学院修学休業制度」を利用して、愛知教育大学大学院で養護教育学を学んでいます。この制度は平成13年度から施行されたもので、県立学校に勤務する教職員が、専修免許状の取得を目的とし、3年を超えない範囲で休業できるというものです。

私にとって大学院で学ぶことは、かねてからの念願でしたが、このたびの制度改正で養護教諭の身分を保有したまま、昼間気兼ねなく時間をかけて研究に取り組むことができるようになりました。

現在、養護教育専攻昼間開講コースで学んでいる院生は、小・中・高の現職養護教諭と中国人留学生の4名です。現職が多いということで、それぞれに問題意識をもって授業に臨んでいるため、ディベートも盛り上がります。また、今までの職務に対する検証や評価を大学の先生方と共に討議できることが、なによりの学びとなります。

そのような、日々の学びの中で実感することは、自己の視野の狭さや実践の理論化の未熟さです。そのため、空き時間にはできるだけ学部の授業にも参加して、英語やパソコンなど今まで時間がなくてじっくり取り組めなかったことにも挑戦しています。さらに、留学生にご当地の学校保健や養護教諭についての話を聞くのも、好奇心がそそれ大変興味深いことです。

2年間という短い期間ではありますが、養護教諭の職務を自分なりに体系化できればと考えています。

そのためには、すでに学問的に確立されている隣接の看護学や、保健学、教育学などの領域を参考にしながら、理論化していきたいと考えています。しばし仕事を離れ、自分自身や職務を振り返ることは、いろいろな面でプラスになると実感しています。

混 乱 と 葛 藤 の 日 々

日方 美和

(愛知県立足助高等学校)

新学期が始まって1ヶ月半が過ぎた。毎日が目まぐるしく過ぎていき、もう3ヶ月ぐらいいは経ったかのような気がしている。こんな慌ただしく短い期間にも、自分の中にいろんな思いが湧き起こってくる。

本校は生徒数321人という山間部にある小規模校で、養護教諭はもちろん私ひとりである。前年度、複数配置の高校で期限付養護教諭として勤めた経験はあったのだが、学校の様子もだいぶ異なるため、ほとんど何もわからない状態のままのスタートとなった。学校が始まってからというもの、保健行事が次から次へと押し寄せ、それらの執務に時間がとられ、入室する子どもの話に充分耳を傾けられていない。子どもたちと同じ空気を吸い、同じ時間を過ごしたい。子どもたちを護り、育てたいという思いは常にあるのだが、現実にはなかなか厳しく、もどかしさを感じる。また、養護教諭としての知識・経験不足から、子どもたちに伝えなくてはいけないものの10分の1も伝えてあげていないのではないかと思い悩む時もある。子どもたちに「ごめんね」と心の中でいつも謝りながら、立ち止まることもできずに、ただひたすら突っ走っているという混乱と葛藤の日々である。

しかし、最近は子どもたちの笑顔と足助の山々に癒され、元気づけられながら、「ぼちぼちだよ」と自分に言い聞かせ、毎日を楽しむようにしている。幸いなことに、本校は周りの先生方がとても協力的で、いろんな場面で支え、助けてくださる。養護教諭人生まだ始まったばかり。うまくいかないという経験を大切に、今後に生かしていきたいと思う。



「学会誌の原稿」募集中

「日本養護教諭教育学会誌」第5巻第1号の原稿を募集しています。

養護教諭の養成教育や現職教育に関する実践や調査などを研究論文にまとめて投稿してみませんか？会員が相互に研究成果を交換し合い、それをまた実践で検証し、研究としてまとめ交換し合う、といった積み重ねによって、より質の高い実践を追求していけたらと思っています。積極的な投稿を期待しています。

1. 投稿資格：本学会の会員に限ります。
2. 原稿の種類：論壇、総説、原著、研究報告、実践報告、資料、その他です。
投稿論文は、他の出版物に既に発表または投稿されていないものに限ります。
3. 募集期間：年間を通して受け付けていますが、第5巻第1号の原稿の最終締め切りは、2001年9月30日です。
4. 投稿方法：B5判横書きで3部（内2部は査読用なので著者名、所属を記載していないもの）を作成し、学会事務局に送付して下さい。原稿枚数や執筆要項等の詳しいことは学会誌第4巻第1号に掲載の「投稿規定 最終改正 2000年9月9日」をご覧ください。
5. 問い合わせ先：ご不明な点がございましたら学会事務局にお問い合わせ下さい。

なお、査読が終了し、受理された論文から掲載しますので、早めに投稿されることをお勧めします。また、受理までに長期間を要する場合は、第6巻以降の掲載になることもありますので念のため申し添えます。

(編集委員長 盛 昭子)

研究助成金申請者の募集

日本養護教諭教育学会では、会則第3条2に定める研究事業の一環として特色ある研究に対して助成を行っています。助成金は現在のところ些少ですが、「会員の研究意欲」を支援し、その研究成果を公表することによって「学会全体の研究活動の活性化」を図るものです。そこで、2002年度の研究助成金申請者の募集を下記の要領で行います。奮ってご応募下さい。

応募に際しては、以下の規定を周知のうえ、下記の「記載事項」に基づく研究助成金申請書を学会事務局宛に6月30日（消印有効）までに送付して下さい。

【応募方法】下記の記載事項によって申請書を作成し、封筒の表に「研究助成」と朱書して、学会事務局に郵送する。

【応募資格】応募者は2001年度学会費を納入している本学会の会員に限る。

【研究期間と助成金】研究期間は1年を原則とする。但し1年に限り延長することができる。

なお、その場合は2年次にも改めて申請をして審査を受けるものとする。これまでの助成金は1件当たり5万円である。

【研究成果の報告】研究助成金を受けた研究は、その成果を学術集会及び学会誌に発表しなければならない。期限は、原則として研究助成期間終了後1年以内とする。

【研究課題の選考】助成を行う研究課題は、理事会において審議し、総会で承認を受けて決定する。なお、理事会では、特色ある研究であること、研究目的が明確であることなどを基準として審査する。

「2002年度研究助成金申請書」への記載事項

1. 研究テーマ（新規・継続の別）
2. 研究期間（1年・2年の別）
3. 研究者
 - ◇代表者（氏名、所属機関名・住所・Tel/Fax、自宅住所・Tel/Fax）
 - ◇共同研究者（氏名、所属機関名・住所・Tel/Fax）
4. 研究計画
 - 「研究の目的」「研究の方法」「研究の独自性」「研究のスケジュール」など

◆なお、この申請書は原則としてワープロで作成し、A4サイズ用紙2枚以内とする。

（研究活動担当 後藤ひとみ）

研究班からの活動報告

「健康教育に必要な養護教諭の能力を考える」

小林 央美

（青森県総合社会教育センター）

第1回会合を2001年3月29日、横浜市西公会堂で行いました。当初の出席予定者は10名中8名でしたが、年度末の諸事情が重なって当日はさらに欠席者が増えてしまいました。しかし、研究活動理事が事前に研究の進め方などについての意見を紙面を通じて集めていたため、全員の考えがまな板にのるような話し合いができたように思います。

今後の進め方として、1) 問題意識を整理し、今なぜ健康教育を考えなければならないのか、共同研究をする意義を確認すること。2) この研究における「健康教育」とは何かをはっきりさせ、「学校における健康教育」や「養護教諭の行う健康教育」という視点を大事にすること。3) 研究方法は文献研究・事例検討・調査などのいずれかになる

であろうことを整理しました。

そして、学会共同研究であることを認識して、学会全体に返していけるような研究となるよう頑張ろうという気持ちを新たにしました。現在、第2回会合にむけて準備中です。

「養護教諭の英訳および本学会に関するワーキンググループの経過報告

ハーモニー24号で、「養護教諭の英訳および本学会の英名に関するワーキンググループ」の研究員を募集しましたところ11名の応募がありました。早速、理事7名を加えた18名のメンバーで第1回目の会合を開催し検討を進めています。そこで、ワーキンググループの研究員と第1回会合の活動状況を報告します。

1. 研究員（50音順、敬称略、*理事）

代表*大谷 尚子（茨城大学教育学部）

代表 鎌田 尚子（女子栄養大学）

*石原 昌江（岡山大学教育学部）

岡本 陽子（三重県立神戸高等学校）

梶岡多恵子（名古屋大学

総合保健体育科学センター）

*楠本久美子（四天王寺国際仏教大学

短期大学部）

*後藤ひとみ（北海道教育大学旭川校）

小林 陽子（愛知県立瀬戸北高等学校）

*下村 淳子（愛知教育大学附属高校）

竹田由美子（神奈川県立衛生短期大学）

栩野千恵子（都島区友渕小学校分校）

中桐佐智子（吉備国際大学）

三木とみ子（女子栄養大学）

美馬 信（大阪女子短期大学）

*村瀬 久美（愛知県立加茂丘高等学校）

*盛 昭子（弘前大学教育学部）

山崎 隆恵 (神奈川県立藤沢北高校)

吉田あや子 (西南女学院大学)

2. 第1回会合の活動報告

- 1) 日時 2001年2月11日(日) 12:30~16:30
- 2) 場所 横浜市宮崎地域ケアプラザ
- 3) 内容

各研究員が持参した資料などをもとに、現時点での意見を述べた。養護教諭の英名案としては、Health Teacher, School Health Teacher, Yogo Teacher, School Nurse Teacher, School Nurse - Teacher, School Nursing Teacher, School Nurse など(発表順)が出され、その後、活発な意見交換がなされた。

4) 確認された内容

- (1) 第10回総会(10月開催)に「日本養護教諭教育学会」の英名を提案し、会員の承認を得て決定したい。そのためには「養護教諭」の英名及び表記について検討の上提案し、学会会員の共通理解を得る必要がある。
- (2) 本ワーキンググループは、上記の提案にむけて、意見をまとめること、意見の根拠(EBM)を明確にして整理する役割を持つ。
- (3) 作業にあたり「養護教諭」の英訳の目的は何であるのか、即ち「何のために」「誰のために」を踏まえ、「日本の養護教諭の発展につなげる」という視点が重要である。

5) 今後の活動

種々の意見の検討を行うために以下の6つのテーマを分担し、次回会合までに資料の収集・整理を行う。

- ① 「養護」の概念や機能
- ② 「Nurse」の概念や機能
- ③ 養護教諭の特性や役割を表す新たな英語

表現

- ④ 現職養護教諭の声
- ⑤ 諸外国の状況
- ⑥ その他(教大協全国養護部門で集約した各大学での表記など)

司会 後藤ひとみ

記録 下村 淳子

理事会等の報告

(2000年7月以降)

理事会等の活動は次のとおりです。

☆ 理事会

1. 2000年度第2回

日時: 2000年7月31日(月) 9:30~14:30

場所: 神奈川県総合医療会館(横浜)

出席者: 理事7名(大谷、石原、楠本、後藤、下村、村瀬、盛)

内容: 1999年度事業の総括、2000年度事業計画・会計経過報告、2001年度事業計画・2001年度予算案、研究助成金対象研究の選定、本学会の英文名、第8回学術集会、第9回総会についてほか

2. 2000年度第3回

日時: 2000年9月8日(金) 15:00~18:00

場所: ホテルアウィーナ大阪

出席者: 理事7名(大谷、石原、楠本、後藤、下村、村瀬、盛) 会計監査(山本)

内容: 第8回学術集会の準備状況、第9回総会、1999年度会計決算、監査報告、研究助成金対象研究の構成員選定、意見書についてほか

3. 2000年度第4回

日時: 2000年10月22日(日) 10:30~14:00

場所: かながわ県民サポートセンター

(横浜)

出席者：理事6名（大谷、石原、楠本、後藤、村瀬、盛）

内容：第8回学術集会及び第9回総会の反省と次回への申し送り事項の確認ほか

4. 2000年度第5回

日時：2001年2月11日（日）9:00～12:30

場所：宮崎地域ケアプラザ（横浜）

出席者：理事7名（大谷、石原、楠本、後藤、下村、村瀬、盛）第9回学術集会実行委員長（竹田）

内容：2000年度の事業総括と2001年度の行事予定、第9回学術集会の準備状況、「教育職員免許法改正に伴う養護専門科目の充実に関する意見書」の取り扱いほか

☆編集委員会

1. 2000年度第2回

日時：2000年7月31日（日）14:30～17:30

場所：神奈川県総合医療会館（横浜）

出席者：編集委員9名（盛、大谷、石原、楠本、後藤、下村、竹田、中桐、村瀬）

内容：日本養護教諭教育学会誌第4巻第1号の企画、2000年度編集委員会予算、「ハーモニー」23号の発行準備状況と24号の企画案ほか

2. 2000年度第3回

日時：2000年10月22日（日）14:00～17:00

場所：かながわ県民サポートセンター（横浜）

出席者：編集委員9名（盛、浅利、石原、大谷、楠本、後藤、竹田、中桐、村瀬）

内容：日本養護教諭教育学会誌第4巻第1号の編集、2000年度編集委員会予算、「ハーモニー」24号の企画案ほか

3. 2000年度第4回

日時：2001年2月10日（土）14:00～20:00

場所：宮崎地域ケアプラザ（横浜）

出席者：編集委員10名（盛、浅利、石原、大谷、楠本、後藤、下村、竹田、中桐、村瀬）

内容：日本養護教諭教育学会誌第4巻第1号の編集、学会誌発行までの予定、「ハーモニー」25号企画案ほか

新入会（2001年4月1日以降分）

428 山谷 幸司（仙台大学体育学部）

〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18 仙台大学体育学部
TEL 0224-55-3123

429 貴志知恵子（徳島県立鳴門第一高等学校）

〒772-0015 徳島県鳴門市撫養町北浜字宮の西87
TEL 088-686-1002

住所・所属変更のお知らせ

新学期を迎え所属先や連絡先が変わられた方をお知らせします。2000年9月発行の名簿をご訂正下さい。（事務局届け出分のみ掲載）

P 1 内山 有子

3093G Flowers Rd South Atlanta
GA 30341 U.S.A.

吉田瑠美子（北海道教育大学函館校）

自〒041-0835 北海道函館市東山2-33-10
TEL 0138-55-4173

P 3 小笹 典子 郵便番号の訂正

正 〒001-0941

P 7 佐藤紀久栄（前東京都立小平高等学校）

自〒187-0001 東京都小平市大沼町2-721-10
TEL 042-344-5157

P 7 鈴木まゆみ（高崎市立第一中学校）

連絡先は変更なし

P 8 宮田 敏江 (東京都立王子工業高等学校)

連絡先は変更なし

P 10 石崎トモイ (新潟青陵大学)

〒951-8121 新潟県新潟市水道町1-5939

新潟青陵大学

TEL 025-266-0127

P 12 杉浦百合子 (愛知県立岡崎高等学校)

連絡先は変更なし

外山 恵子 (愛知教育大学大学院)

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育教室

西尾 ミツ (聖徳学園女子短期大学)

〒502-0817岐阜市長良3508-2

聖徳学園女子短期大学

P 13 日方 美和 (愛知県立足助高等学校)

〒444-2451 愛知県東加茂郡足助町岩神

河原5

愛知県立足助高等学校

TEL 0565-62-1661

堀内久美子 (愛知教育大学)

〒468-001 愛知県名古屋市中天白区原5-

2101 平針南住宅4-402

TEL 052-802-1924

P 22 十時美津子 (東住吉小学校)

連絡先は変更なし

事務局より

☆お知りあいの方で入会を希望される方がいましたら事務局までご連絡下さい。折り返し、入会申込書をお送りいたします。

☆学会誌を販売しております。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。1冊2,500円です。1巻と3巻は残りがわずかです。

☆本学会では賛助会員の募集をしております。大学・企業などの団体を含めて本学会の趣旨に賛

同いただける方を募っております。詳しくは事務局までご連絡下さい。年会費は1口10,000円です。

☆所属先の変更・連絡先の変更がありましたら早めに事務局までお知らせ下さい。(郵送またはFAX)

☆第9回学術集会の参加費等の振込み用紙を同封しました。多数のご参加をお待ちしております。



編集後記

会員の方からの励まし、編集委員の力を頼りに、編集担当もよちよち歩きで2年目を迎えることができました。力量不足を思い知らされる1年でしたが、これからも頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

ハーモニーは、養護教諭の資質・向上を願う学会としての活動を一層前進していくための情報交換の場として活用していただければ幸いです。学会誌に載せる内容ではないけれど、日々の工夫点や困っていて相談したいことなど何でも結構ですので、自由に投稿してください。

最後になりましたが、今回ご執筆くださいました各会員の方々に心よりお礼申し上げます。

(石原、村瀬)